

言葉の力を他教科・他領域でも生かす・育む - 名人ポイント - (小学校 話すこと・聞くこと編)

小学校第1学年及び第2学年

小学校第3学年及び第4学年

小学校第5学年及び第6学年

中学校第1学年

話すことのポイント

【話すこと】

指導事項イ

相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄を考えること。

指導事項ウ

伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。

他教科・他領域でも…

- ①話すことを決めるときは、学校や家庭、地域のできごとや自分が経験したことを思い出させ、一番話したいことを選ばせる。
- ②話すメモを作るときは、話す順序（時間的な順序、物事や対象を説明したりする際の事柄の順序、「始め—中—終わり」の構成の順序）を考えさせる。
- ③話すときは、相手に聞こえる声の大きさ、聞きやすい速さ、一番伝えたいことを大きな声でゆっくり話すことに留意させる。

【話すこと】

指導事項イ

相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

指導事項ウ

話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。

他教科・他領域でも…

- ①話す内容を考えるときは、目的を意識して、日常生活から話題を決めさせる。また、本や文章を読んだり、人に聞いたりしながら、話題の材料を集めさせる。
- ②話すメモを作るときは、相手に伝わるように、理由や例をあげさせたり、順番を考えさせたりする。
- ③話すときは、時と場に合った声の出し方や言葉遣い、視線などに気を付けさせ、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫させる。

【話すこと】

指導事項イ

話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。

指導事項ウ

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- ①話す内容を考えるときは、話す目的や意図にあった材料を集めさせ、集めた材料を内容ごとにまとめたり結びつけたりして内容を整理させる。
- ②話すメモを作るときは、話す順序を考えさせ、事実と感想、意見とを区別させる。
- ③話すときは、目的や相手、状況などを考え、話す内容に資料が合っているかを確かめて、資料の提示の仕方やその順番などを工夫させる。また、聞き手の反応を見ながら、視線や指示の仕方を工夫させる。

【話すこと】

指導事項イ

自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。

指導事項ウ

相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- ①話す内容を考えるときは、特に伝えたいことを明確にさせ、必要な説明や具体例を短く箇条書きで書かせる。
- ②話すメモを作るときは、集めた材料にナンバリングしながら順番を考えたり、接続後や文末表現を意識させたりする。
- ③話すときは、聞き手の反応を見ながら、言葉を選択したり、話す速さや声の大きさ、間の取り方などに気を付けたりさせるとともに、資料の提示の仕方を工夫させる。

話し合いのポイント

【話し合うこと】

指導事項ア

身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

指導事項オ

互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。

他教科・他領域でも…

- ①話し合いを始める前に、話し合う内容を確認する。
- ②話し合うときは、友達の発言をよく聞かせ、共感を示したり、分からないことや聞きたいことは質問をさせたりする。
- ③話し合った後は、友達の発言を聞いた感想を伝え合わせる。

【話し合うこと】

指導事項ア

目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

指導事項オ

目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

他教科・他領域でも…

- ①話し合いを始める前に、話し合う目的や内容、目指す到達点を確認させる。
- ②話し合うときは、司会者、提案者、参加者などの役割を決め、それぞれの役割を果たしながら話し合いを進めさせる。
- ③話し合った後は、意見の共通点や相違点を見付けさせ、自分の考えをまとめさせる。

【話し合うこと】

指導事項ア

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

指導事項オ

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

他教科・他領域でも…

- ①話し合いを始める前に、話し合いの内容、順序、時間配分、目的や目指す到達点を明確にさせ、計画的に話し合わせる。
- ②話し合うときは、自分の立場（賛成、反対など）に対する考えと、考えの根拠を明確にして、意見を述べさせる。
- ③話し合った後は、自分とは異なる意見も自分の考えに生かすようにして、考えをまとめさせる。

【話し合うこと】

指導事項ア

目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

指導事項オ

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。

他教科・他領域でも…

- ①話し合いを始める前に、話し合いの目的や話題、進め方を明確にして、計画的に話し合わせる。
- ②話し合うときは、自分の意見や立場、その根拠となる事実を明確にして、簡潔に意見を述べさせる。また、話を聞く際は要点や疑問点をメモさせる。
- ③話し合った後は、納得できる意見を選んだり、考えを関係付けたりして、考えをまとめさせる。

言葉の力を他教科・他領域でも生かす・育む -名人ポイント- (小学校 書くこと編)

レポート

情報収集編

小学校第1学年及び第2学年

【書くこと】

指導事項ア（情報の収集）

経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。

他教科・他領域でも…

- ①経験したことや想像したことなどから、書く材料を集めさせる。
- ②集めた材料から、どの内容が必要かを考えさせ、書くことを決めさせる。また、順序に沿って、書く順番を決めさせる。

小学校第3学年及び第4学年

【書くこと】

指導事項ア（情報の収集）

相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

他教科・他領域でも…

- ①レポートを作成する相手や目的、必要になる情報を明確にさせる。
- ②集めた材料を共通点や相違点などを比較したり分類したりして整理し、目的に応じた情報を選ばせる。

小学校第5学年及び第6学年

【書くこと】

指導事項ア（情報の収集）

目的や意図に応じて、感じたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

他教科・他領域でも…

- ①レポートを作成する目的や意図、必要になる情報を明確にさせる。
- ②集めた材料を、優先順位を考えて並べたり、様々な立場から分類したりして、目的に応じた情報を選ばせる。

中学校第1学年

【書くこと】

指導事項ア（情報の収集）

目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

他教科・他領域でも…

- ①レポートのテーマや内容、作成する目的や意図を明確にさせる。
- ②収集した材料は、比較しながら取捨選択したり、分類したり、原因と結果、意見と根拠などの関係を見付けて、整理させる。

レポート

記述編

【書くこと】

指導事項ウ（記述）

語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- 漢字や仮名を正しく書かせる。
- 句読点を適切に打たせ、「」（かぎ）を正しく使わせる。
- 始め、中、終わりの組み立てを意識して書かせる。

【書くこと】

指導事項ウ（記述）

自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- 漢字や仮名、句読点、改行の仕方等、文字等の表記に気を付けて書かせる。
- 主語と述語の関連や指示する語句の役割等に気を付けさせ、正しい文を書かせる。
- 自分の考えが伝わるよう、理由を明確にしたり、例をあげて説明したりして書かせる。

【書くこと】

指導事項ウ（記述）

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見と区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

指導事項エ（記述）

引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- レポート作成の目的や意図に応じて、詳しく書く内容と簡単に書く内容を判断させる。
- 自分の感想や意見と、その裏付けとなる客観的な事実を区別して書かせる。
- 自分の伝えたいことが伝わるように、引用したり、図形やグラフなどを用いたりして、書き表し方を工夫させる。

【書くこと】

指導事項ウ（記述）

根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

他教科・他領域でも…

- レポート作成の目的や意図に応じて、材料を取捨選択し、構成を工夫して書かせる。
- 自分の伝えたいことが伝わるように、複数の事例をあげながら、根拠を明確にして書かせる。
- 自分の考えや意見を、その裏付けとなる確かな事実や事柄に基づいて書かせる。

推敲のポイント

【書くこと】

指導事項エ（推敲）

文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。

他教科・他領域でも…

- 一文一文丁寧に読み返させ、次の内容等について見直しさせる。
 - ・書いている文字は正しいか
 - ・脱字はないか
 - ・句読点の打ち方や「」（かぎ）の使い方は適切か
 - ・助詞「は」「を」「へ」などの使い方は正しいか

【書くこと】

指導事項エ（推敲）

間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたり、文や文章を整えること。

他教科・他領域でも…

- よりよい表現を目指し、次の内容等について見直しさせる。
 - ・学習した漢字が正しく使われているか
 - ・主語と述語はねじれていないか
 - ・文末表現は整っているか
 - ・相手や目的に適した表現になっているか
 - ・内容のまとまりごとに、段落を分けているか

【書くこと】

指導事項オ（推敲）

文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

他教科・他領域でも…

- 文章全体の構成や書き表し方に着目させ、次の内容等について見直しさせる。
 - ・語句の係り方や語順は分かりやすいか
 - ・一文の長さは適切か
 - ・より分かりやすい言葉に置き換えられないか
 - ・比喩や反復、倒置など、表現の工夫はできないか
 - ・引用の仕方、図表等の用い方は適切か など

【書くこと】

指導事項エ（推敲）

読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。

他教科・他領域でも…

- 文章全体を見て、読み手の立場に立って、次の内容等について見直しさせる。
 - ・語句の係り方や語順は分かりやすいか
 - ・一文の長さは適切か
 - ・より分かりやすい言葉に置き換えられないか
 - ・比喩や反復、倒置など、表現の工夫はできないか
 - ・引用の仕方、図表等の用い方は適切か など

言葉の力を他教科・他領域でも生かす・育む - 名人ポイント - (中学校 話すこと・聞くこと編)

小学校第5学年及び第6学年

中学校第1学年

中学校第2学年

中学校第3学年

話すことのポイント

【話すこと】

指導事項イ

話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。

指導事項ウ

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- ①話す内容を考えるときは、話す目的や意図にあった材料を集めさせ、集めた材料を内容ごとにまとめたり結びつけたりして内容を整理させる。
- ②話すメモを作るときは、話す順序を考えさせ、事実と感想、意見とを区別させる。
- ③話すときは、目的や相手、状況などを考え、話す内容に資料が合っているかを確かめて、資料の提示の仕方やその順番などを工夫させる。また、聞き手の反応を見ながら、視線や指示の仕方を工夫させる。

【話すこと】

指導事項イ

自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。

指導事項ウ

相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- ①話す内容を考えるときは、特に伝えたいことを明確にさせ、必要な説明や具体例を短く簡潔書きで書かせる。
- ②話すメモを作るときは、集めた材料にナンバリングしながら順番を考えたり、接続後や文末表現を意識させたりする。
- ③話すときは、聞き手の反応を見ながら、言葉を選択したり、話す速さや声の大きさ、間の取り方などに気を付けたりさせるとともに、資料の提示の仕方を工夫させる。

【話すこと】

指導事項イ

自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。

指導事項ウ

資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- ①話す内容を考えるときは、伝えたい自分の考えや立場を明確にさせ、それを支える根拠がふさわしいかを検討させる。
- ②話すメモを作るときは、話す事柄の順序について、聞き手への伝わり方を意識して構成させる。
- ③話すときは、聞き手に分かりやすく伝えるために、目的や状況、相手に応じて、本、図表、グラフ、写真などを含む資料やICT機器を必要に応じて活用させる。

【話すこと】

指導事項イ

自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。

指導事項ウ

場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- ①話す内容を考えるときは、色々な考えをもつ相手に理解・納得してもらえるように、論理の展開を考えたり、意見の根拠や理由を明確にしたりさせながら整理させる。
- ②話すメモを作るときには、根拠の適切さや聞き手に応じた説明を工夫したり、具体例を根拠として示したりし、選ぶ語句なども考えながら構成させる。
- ③話すときは、聞き手の人数や立場、話す場所の広さなどを踏まえて、分かりやすい語句を用いたり、内容を補足したり、問いかけや質問を促したりするなどの工夫をさせる。

話し合うのポイント

【話し合うこと】

指導事項ア

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

指導事項オ

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

他教科・他領域でも…

- ①話し合いを始める前に、話し合いの内容、順序、時間配分、目的や目指す到達点を明確にさせ、計画的に話し合わせる。
- ②話し合うときは、自分の立場（賛成、反対など話題に対する考え）と、考えの根拠を明確にして、意見を述べさせる。
- ③話し合った後は、自分とは異なる意見も自分の考えに生かすようにして、考えをまとめさせる。

【話し合うこと】

指導事項ア

目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

指導事項オ

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。

他教科・他領域でも…

- ①話し合いを始める前に、話し合いの目的や話題、進め方を明確にして、計画的に話し合わせる。
- ②話し合うときは、自分の意見や立場、その根拠となる事実を明確にして、簡潔に意見を述べさせる。また、話を聞く際は要点や疑問点をメモさせる。
- ③話し合った後は、納得できる意見を選んだり、考えを関係付けたりして、考えをまとめさせる。

【話し合うこと】

指導事項ア

目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

指導事項オ

互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。

他教科・他領域でも…

- ①話し合いを始める前に、話し合いの目的や話題、進め方や、テーマに対する互いの立場などを確認させる。
- ②話し合うときは、聞き手から反論されたりや意見を求められたりすることを予想しながら、意見を述べさせる。また、互いの意見の共通点や相違点等をメモさせる。
- ③話し合った後は、それぞれの立場や意見の背景を理解し、共通点や相違点、新たな提案を踏まえて結論に向かい、考えをまとめさせる。

【話し合うこと】

指導事項ア

目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

指導事項オ

進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に考えを広げたり深めたりすること。

他教科・他領域でも…

- ①話し合いを始める前に、司会、提案者、参加者などそれぞれの立場で目的に沿った話し合いの仕方を確認させる。
- ②話し合うときは、各自の意見を結び付けたり、取捨選択したりして、より良い結論に向かうよう話し合いを進めさせる。
- ③話し合った後は、異なった立場や考え方があっても、立場の違いを認めさせ、共通点や新たな考え方を導き出していく中で考えを深めさせる。

言葉の力を他教科・他領域でも生かす・育む -名人ポイント- (中学校 書くこと編)

小学校第5学年及び第6学年

中学校第1学年

中学校第2学年

中学校第3学年

レポート 情報収集編

【書くこと】

指導事項ア（情報の収集）

目的や意図に応じて、感じたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

他教科・他領域でも…

- ①レポートを作成する目的や意図、必要になる情報を明確にさせる。
- ②集めた材料を、優先順位を考えて並べたり、様々な立場から分類したりして、目的に応じた情報を選ばせる。

【書くこと】

指導事項ア（情報の収集）

目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

他教科・他領域でも…

- ①レポートのテーマや内容、作成する目的や意図を明確にさせる。
- ②収集した材料は、比較しながら取捨選択したり、分類したり、原因と結果、意見と根拠などの関係を見付けて、整理させる。

【書くこと】

指導事項ア（情報の収集）

目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

他教科・他領域でも…

- ①レポートのテーマや内容、作成する目的や意図を明確にさせる。
- ②根拠となる情報や材料を多様な方法で収集させ、目的や意図に応じて比較、分類、関係付けをして整理させる。

【書くこと】

指導事項ア（情報の収集）

目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。

他教科・他領域でも…

- ①レポートのテーマや内容、作成する目的や意図を明確にさせる。
- ②収集した材料は、客観性や信頼性を確認した上で取捨選択し、比較、分類、関係付けするとともに、必要に応じて再度情報を収集させる。

レポート 記述編

【書くこと】

指導事項ウ（記述）

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするともに、事実と感想、意見と区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

指導事項エ（記述）

引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

他教科・他領域でも…

- レポート作成の目的や意図に応じて、詳しく書く内容と簡単に書く内容を判断させる。
- 自分の感想や意見と、その裏付けとなる客観的な事実を区別して書きせる。
- 自分の伝えたいことが伝わるように、引用したり、図形やグラフなどを用いたりして、書き表し方を工夫させる。

【書くこと】

指導事項ウ（記述）

根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

他教科・他領域でも…

- レポート作成の目的や意図に応じて、材料を取捨選択し、構成を工夫して書かせる。
- 自分の伝えたいことが伝わるように、複数の事例をあげながら、根拠を明確にして書かせる。
- 自分の考えや意見を、その裏付けとなる確かな事実や事柄に基づいて書かせる。

【書くこと】

指導事項ウ（記述）

根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

他教科・他領域でも…

- レポート作成の目的や意図に応じて、材料を取捨選択し、構成を工夫して書かせる。
- 説得力が増すように、考えや意見の根拠となることを、具体的に書き表させる。
- 根拠を書くときは、確かな事実や事柄に基づいたものであるか、適当な解釈から導き出されているかなどに留意させる。

【書くこと】

指導事項ウ（記述）

表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫すること。

他教科・他領域でも…

- レポート作成の目的や意図に応じて、文体や事実と意見の関係などに留意して構成させる。
- 目的や意図に応じて、内容のまとめりごとに見出しをつけたり、番号をふったり、注釈をつけるなど表現の仕方を工夫させる。
- 分かりやすく伝えるため、考えの根拠としてふさわしい資料を引用するなどして書かせる。

推敲のポイント

【書くこと】

指導事項オ（推敲）

文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

他教科・他領域でも…

- 文章全体の構成や書き表し方に着目させ、次の内容等について見直しさせる。
 - ・語句の係り方や語順は分かりやすいか
 - ・一文の長さは適切か
 - ・より分かりやすい言葉に置き換えられないか
 - ・比喩や反復、倒置など、表現の工夫はできないか
 - ・引用の仕方、図表等の用い方は適切かなど

【書くこと】

指導事項エ（推敲）

読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。

他教科・他領域でも…

- 文章全体を見て、読み手の立場に立って、伝えたいことが伝わるかを見直しさせる。
 - ・漢字、仮名遣い、送り仮名が正しいか
 - ・文体が常体か敬体で統一されているか
 - ・語句の使い方、係り方や語順は分かりやすいものになっているか
 - ・段落の順序やつながりが適切であるか
 - ・主語と述語のねじれがないか
 - ・より分かりやすい言葉に置き換えられないかなど

【書くこと】

指導事項エ（推敲）

読み手の立場に立って表現の効果などを確かめて、文章を整えること。

他教科・他領域でも…

- 文章全体を見て、読み手の立場に立って表現の効果やその効果等について見直しさせる。
 - ・説明や具体例、描写は、伝えたいことを伝えるために適切か
 - ・漢字、仮名遣い、送り仮名が正しいか
 - ・文体が常体か敬体で統一されているか
 - ・語句の使い方、係り方や語順は分かりやすいものになっているか
 - ・段落の順序やつながりが適切であるか
 - ・主語と述語のねじれがないかなど

【書くこと】

指導事項エ（推敲）

目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。

他教科・他領域でも…

- 文章全体を見て、目的や意図に応じた表現になっているか等について見直しさせる。
 - ・説明や具体例、描写は、伝えたいことを伝えるために適切か
 - ・漢字、仮名遣い、送り仮名が正しいか
 - ・文体が常体か敬体で統一されているか
 - ・語句の使い方、係り方や語順は分かりやすいものになっているか
 - ・段落の順序やつながりが適切であるか
 - ・主語と述語のねじれがないかなど